

🍁 今のあなたにオススメの新刊 🍁



A 心がささくれているあなたに！美しい言葉にふれよう！



「甲子園 100の言葉」 吉本 誠 著
 名勝負の裏にはいつも熱い言葉があった！イチロー・松井秀喜・斎藤佑樹・ダルビッシュ有・田中将大・清原和博・桑田真澄といった名選手から篇文也・木内幸男・原貞といった名将の言葉 100 選。

B 美しいもの、絵や写真が好きあなたへ！

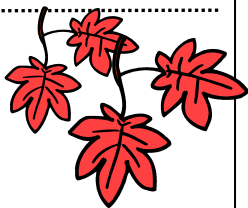


「リボン」 小川糸 著
 だいじょうぶ。こわくないよ。小さな命が、寄り添ってくれた。『食堂かたつむり』『つるかめ助産院』の小川糸が描く、懸命に生きる人々と一羽の鳥の物語。

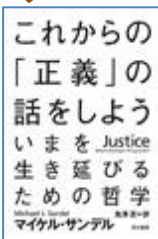
C 泣きたい！ドキドキしたい！ タイクツな毎日にさよならしたいあなたへ！



「短篇工場」 集英社文庫編集部 著
 読んだその日から、ずっと忘れられないあの一編。思わずくすりとしてしまう、心が元気になるこの一編。本を読む喜びがページいっぱいに溢れるような、とっておきの物語たち。2000年代、「小説すばる」に掲載された短編作品から、とびきりの12編を集英社文庫編集部が厳選しました。



図書館オススメ①



「これからの「正義」の話しよう」 マイケル・サンデル 著
 「1人を殺せば5人が助かる。あなたはその1人を殺すべきか？」正解のない究極の難問に挑み続ける、ハーバード大学の超人気哲学講義“JUSTICE”。経済危機から大災害にいたるまで、現代を覆う苦難の根底には、つねに「正義」をめぐる哲学の問題が潜んでいる。サンデル教授の問いに取り組むことで見えてくる、よりよい社会の姿とは？NHK『ハーバード白熱教室』とともに社会現象を巻き起こした大ベストセラー、待望の文庫化。

D この秋、いろんな事に挑戦したいあなたへ！



「日本人の知らない日本語4」 海野凧子 著
 海の向こうで日本語を勉強している人たちに会ってきた。オールカラー、コミックエッセイ。

E 自分の進路、悩んでいるあなたへ！



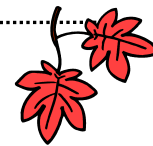
「やさくれるには、まだ早い！」 豊島ミホ 著
 田舎から上京して20歳で作家になった豊島ミホ。初めて彼氏の居るクリスマス、ひとり花火大会、同棲問題…東京っぽくない東京暮らしの悲喜こもごも。順調そうに見えた彼女は、なぜ結果的に恋と仕事を失い、秋田へと帰ることになったのか。そして、いまだんな心境で再スタートを切ろうとしているのか。一人の作家が人生に逡巡するさまを赤裸々に綴った実録880日エッセイ+現状報告。



F 一歩をふみだす元気がほしいあなたへ！



「少年H」 妹尾河童 著
 中学校の軍事教官ににらまれ、死ぬほど殴られたHは、教練射撃部に入部し、難を逃れようとする。その後、戦火はいよいよ身近にせまり、米軍の空襲は日本全国におよぶ。ある夜、ついに神戸が大空襲を受け、Hと母は、爆弾の雨の中を逃げまどう…。昭和20年8月15日、日本は敗戦を迎え、そこでHが見たものは！



図書館オススメ②



「虹果て村の秘密」 有栖川有栖 著
 推理作家になるという夢を持つ12歳の秀介は、同級生の優希と虹果て村で夏休みを過ごす。「夜に虹が出たら人が死ぬ」という村の言い伝え通りに、男性が密室状態の自宅で殺害される。折しも土砂崩れのため犯人と共に村に閉じこめられた二人は知恵を振り絞り謎に挑む！本格ミステリの名手による珠玉の推理。

